

上部消化管症状に対する 六君子湯の有効性に関する検討

川口メディカルクリニック
大家昌源

目的

六君子湯は胃腸虚弱の症状（食欲不振、つかえ感、膨満感、嘔気、胃痛）に広く処方されており、漢方専門医ではなくても認知されている漢方薬であるが、具体的にどのような症例に有効であるかを確認するための検討を行った。

方 法

対象:平成22年6月～平成23年10月に当院にて六君子湯を投与していた計50例

これらの症例を

- ・年齢・性別・投与期間・投与理由(症状)
- ・上部消化管内視鏡検査所見
- ・併用薬・中止理由

の各項目で調査し、

年齢、性別、症状、内視鏡所見、併用薬で有効率の比較を行った。

結 果

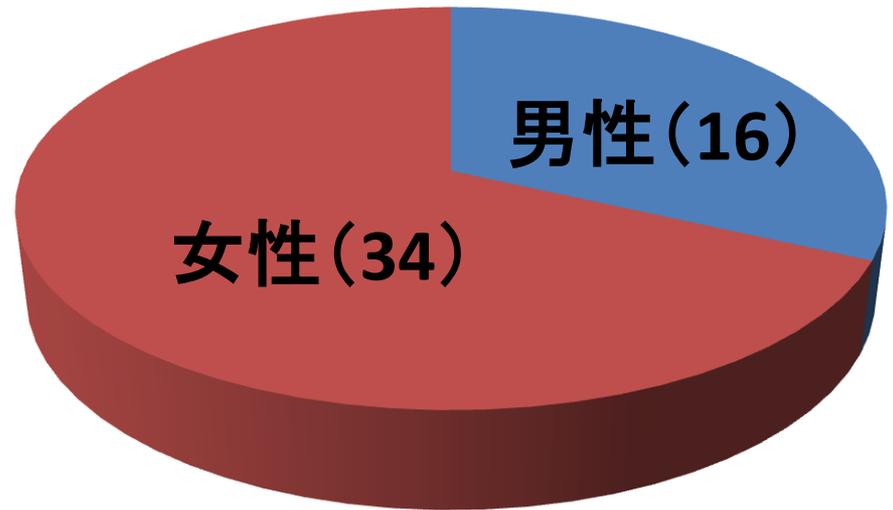
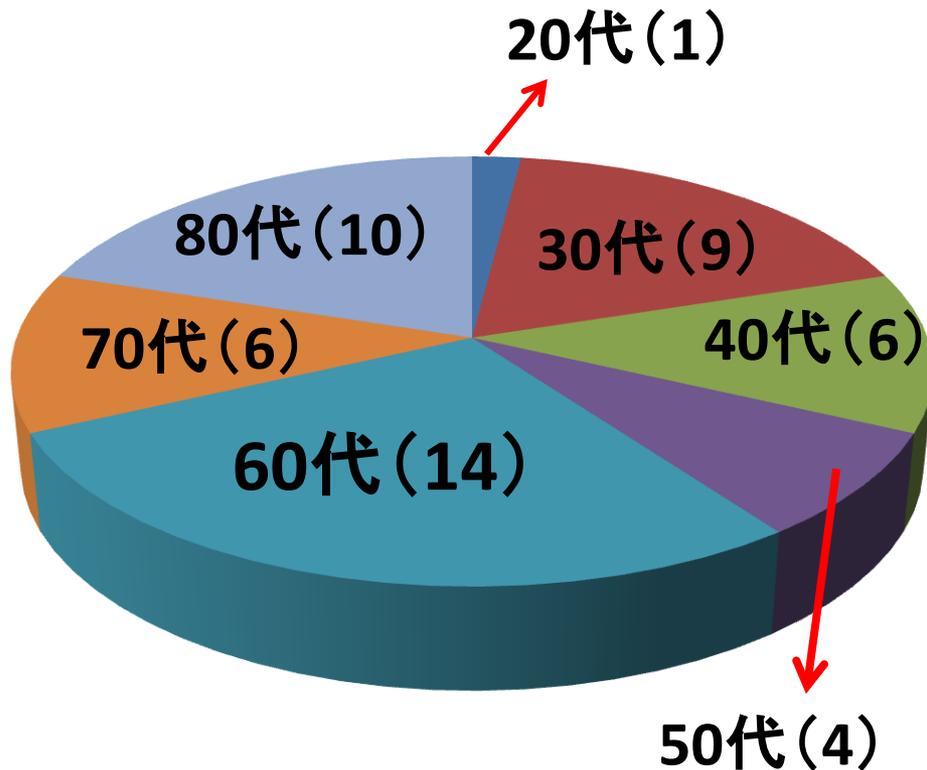
年齡、性別

年齡 25歲～88歲

平均60.4歲

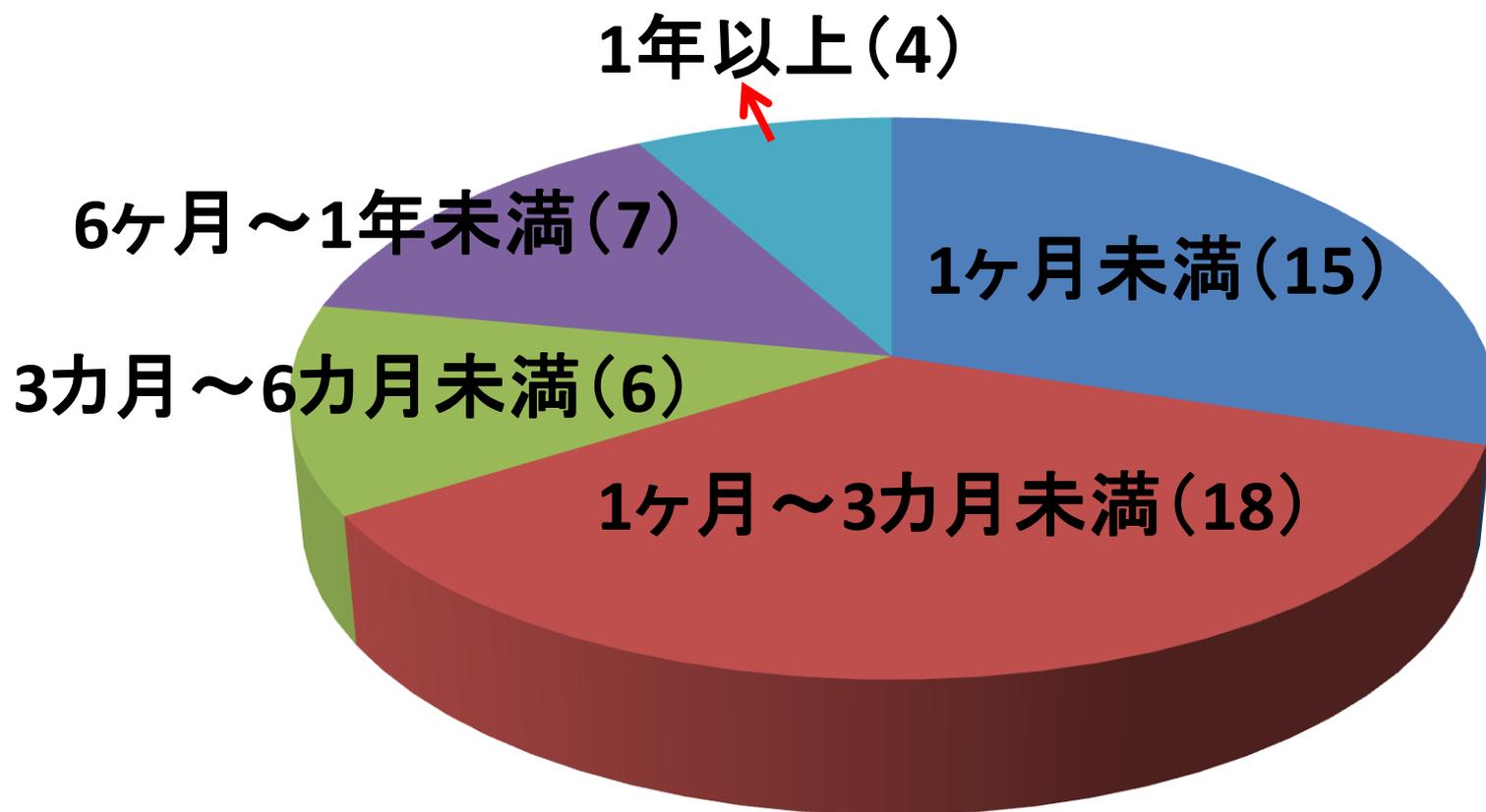
性別 男性 16名

女性 34名

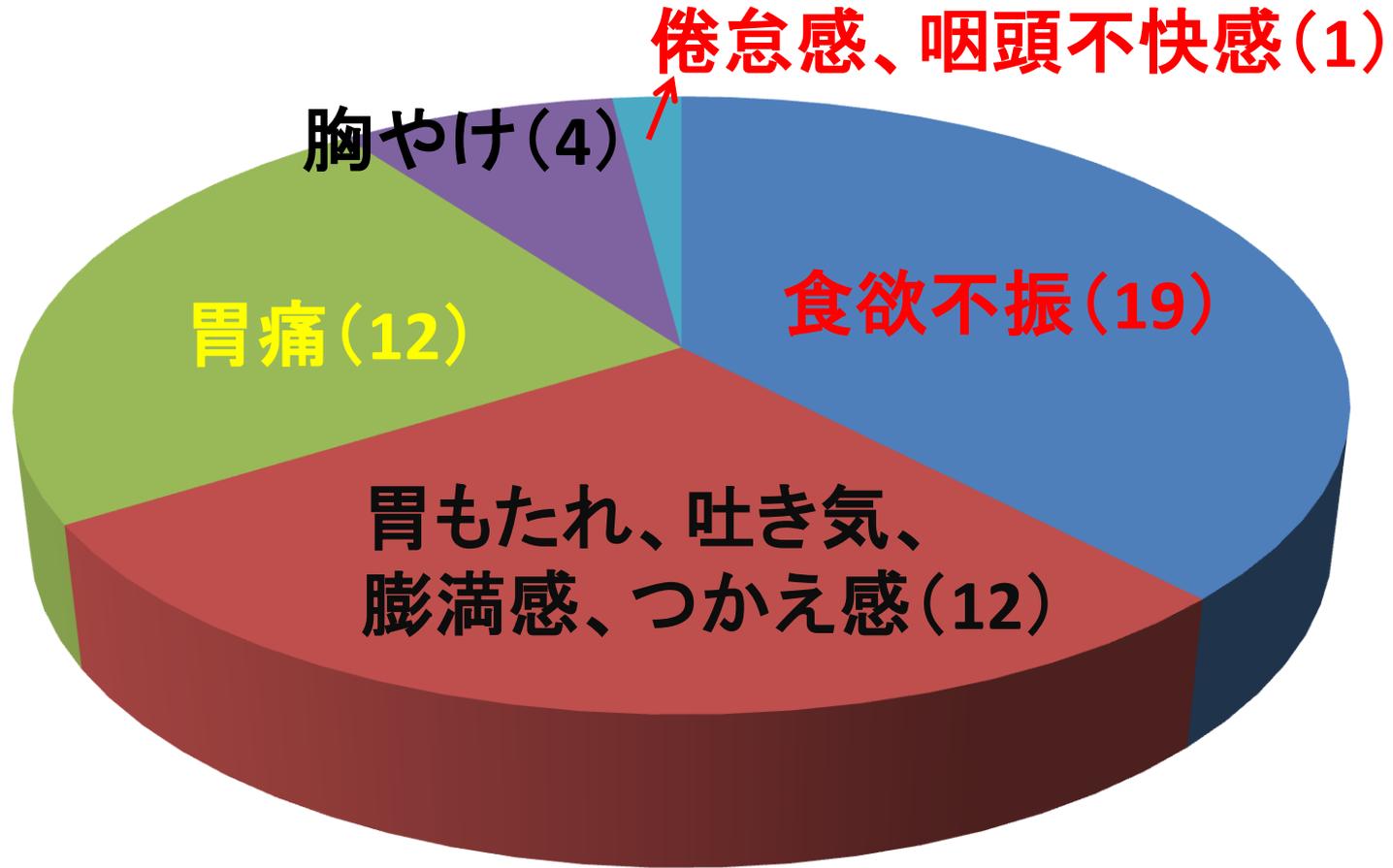


投与期間

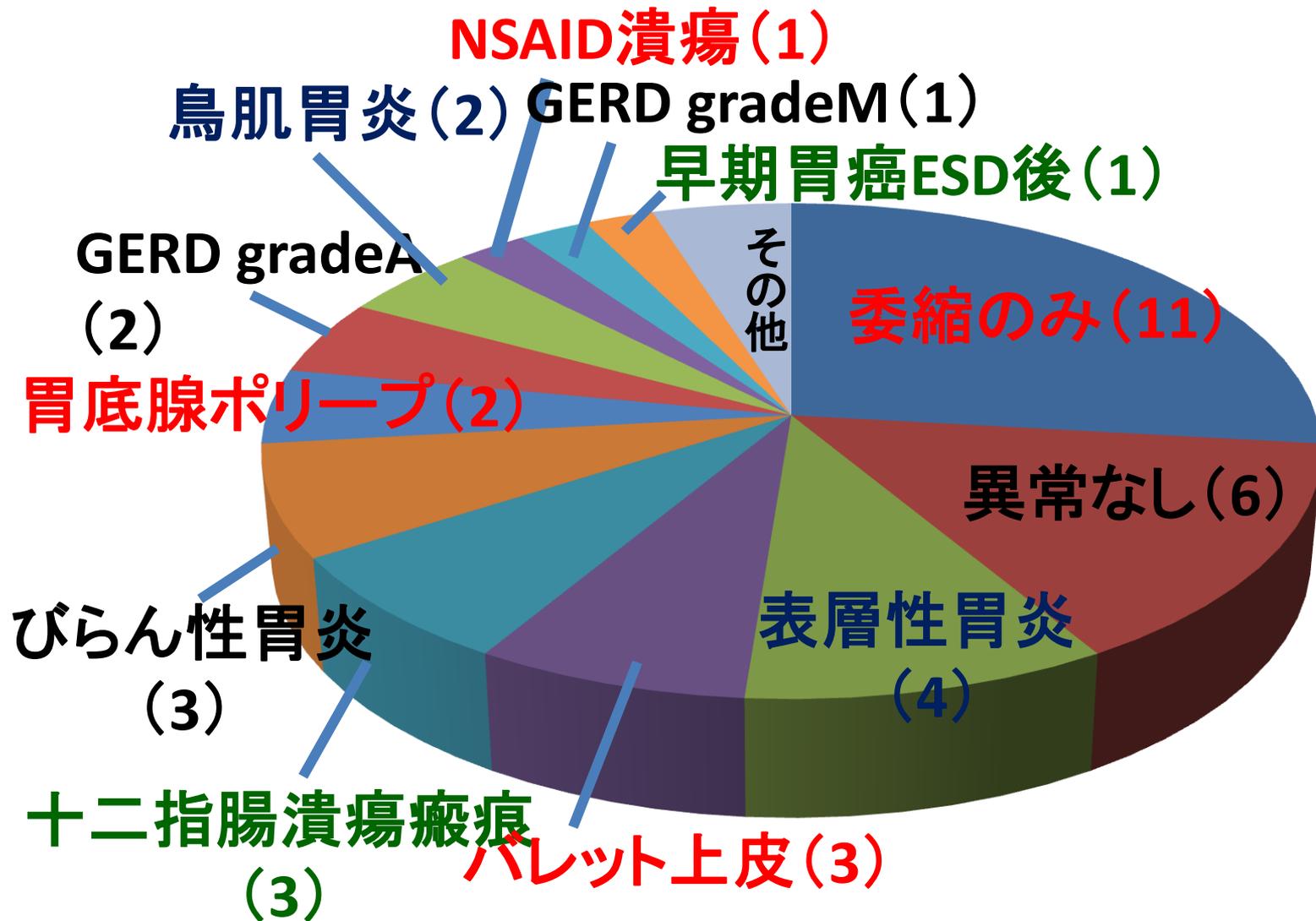
1週間～48ヶ月 平均4.7ヶ月 中央値1ヶ月



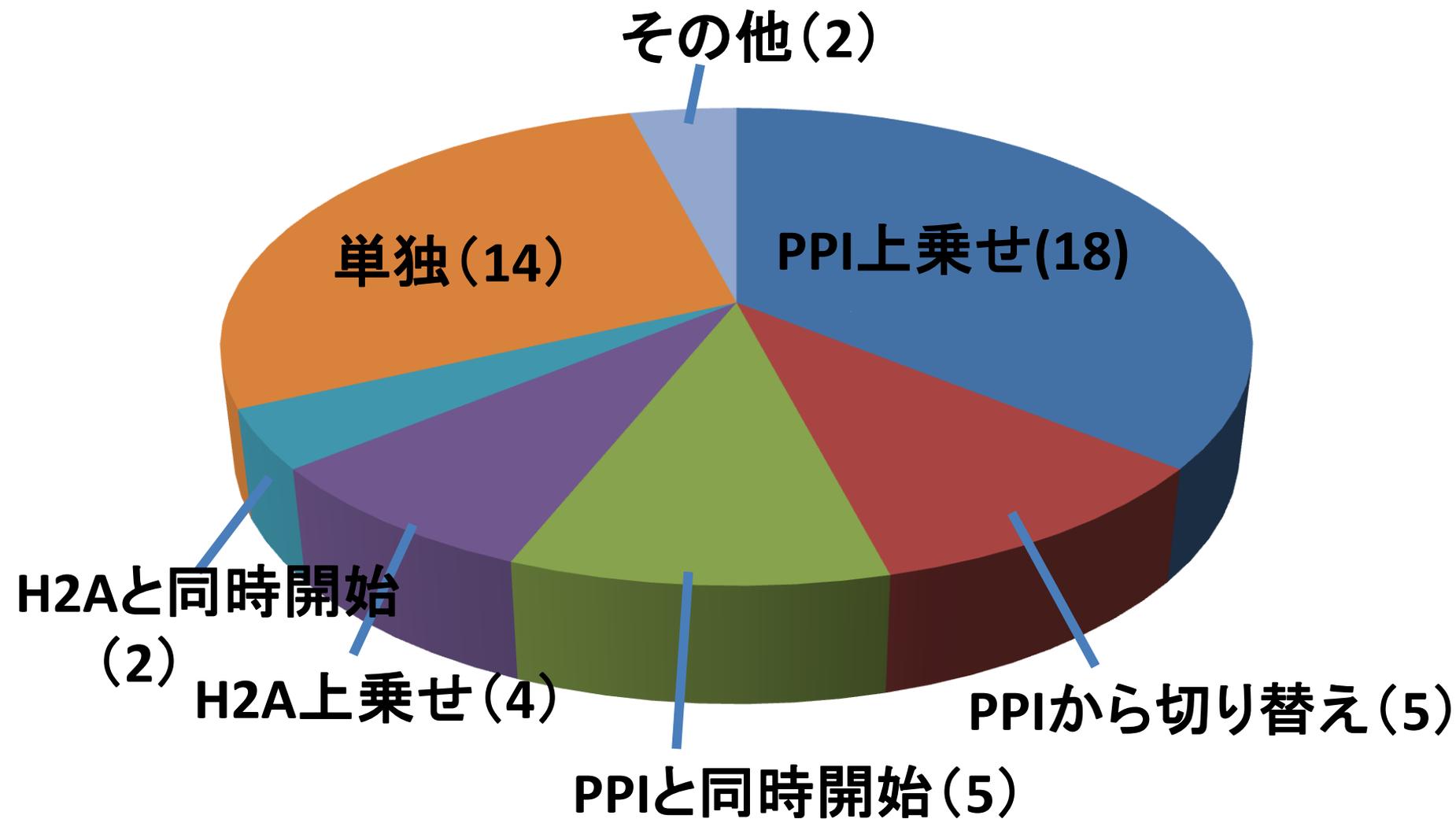
投与理由(主な症状)



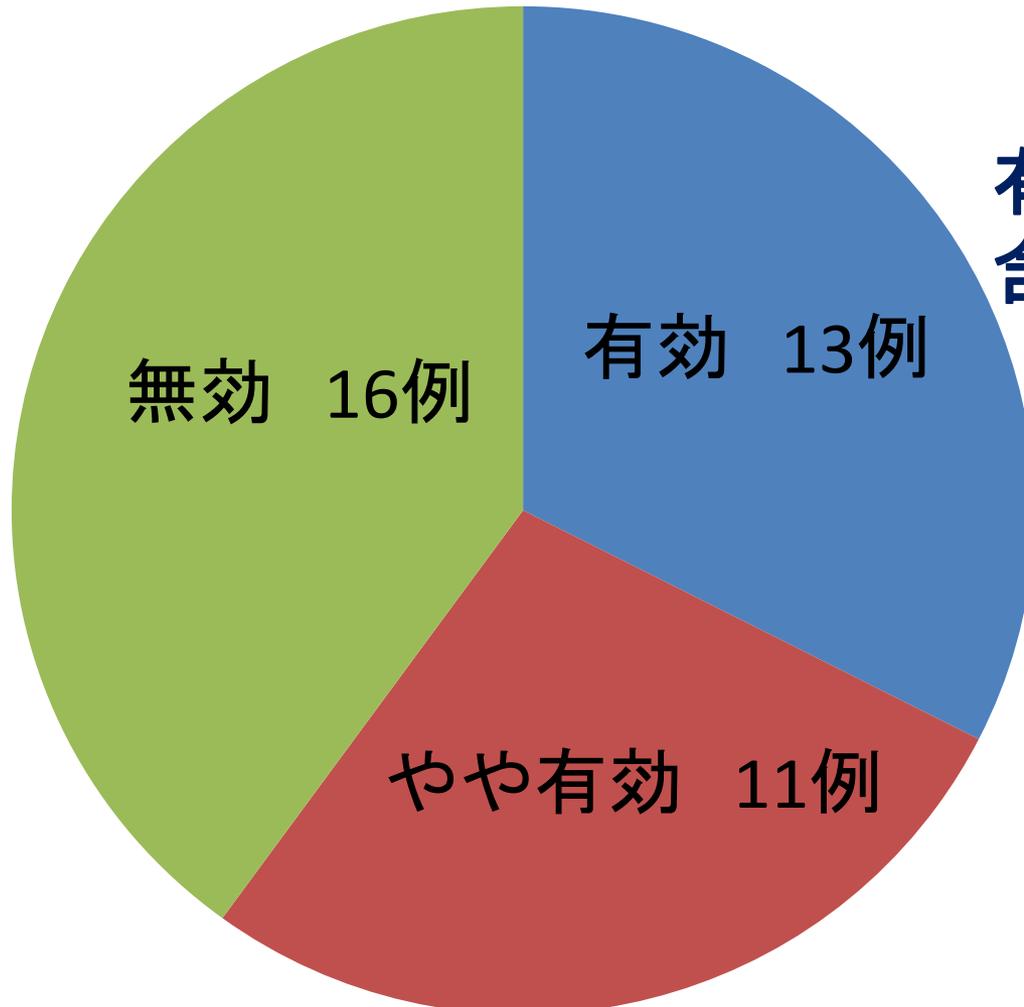
内視鏡所見(計44例中 重複なし)



併用薬



効果



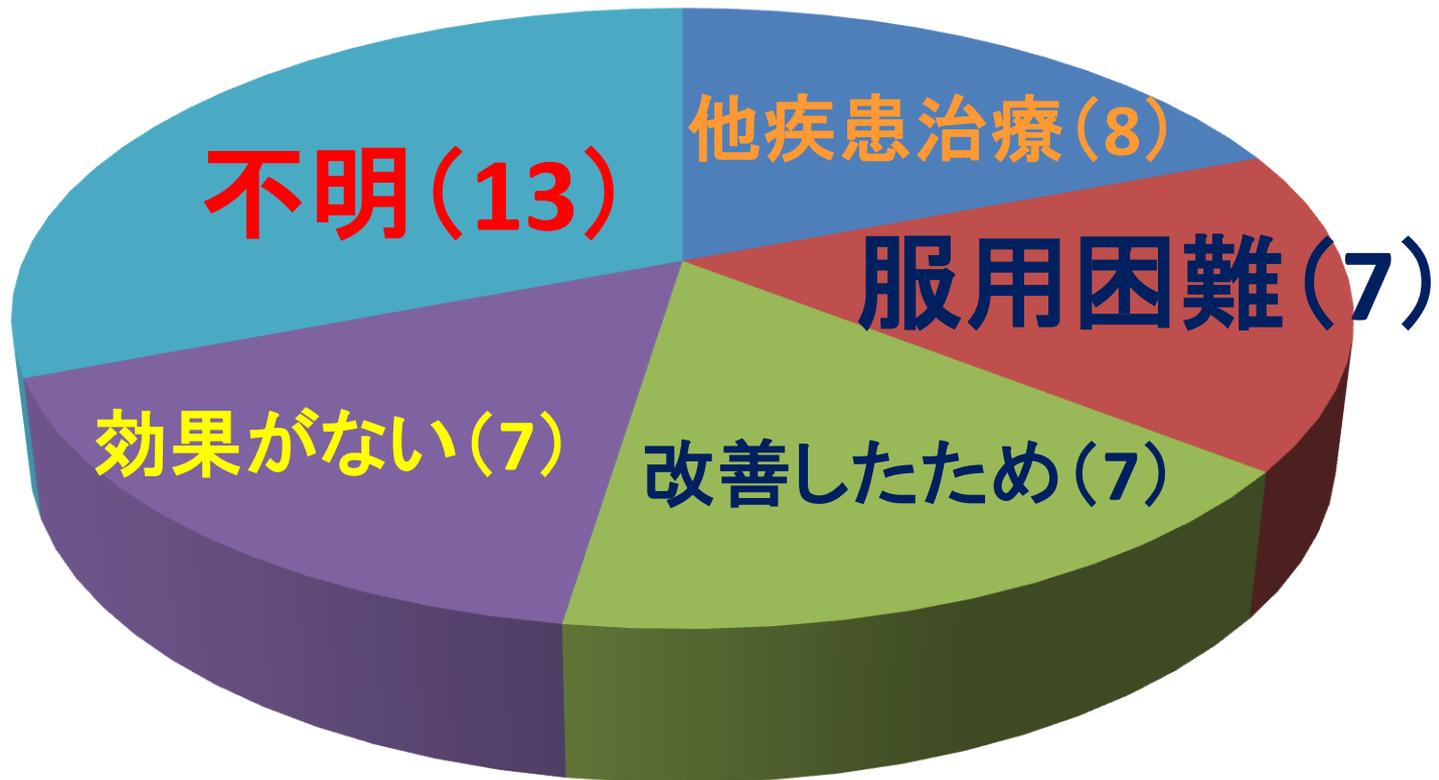
有効率(やや有効も含めて)

$24/40=60\%$

評価不能 10例

中止理由

継続中 8例



有効性の検討

性別による有効率

	有効	無効
男性	8	6
女性	16	10

男性 有効率 57.1%
女性 有効率 61.5%



女性の有効率が
やや高い傾向だが
有意差なし

年齢による有効率

	有効	無効	有効率
60歳以上	18	7	72%
60歳未満	6	9	40%

P=0.0455



60歳以上の高齢者群の
有効率は60歳未満の
若年者群よりも有意に
高い

症状による有効率

	有効	無効	有効率
胃痛、 胸やけ	8	6	57.1%
食欲不振、 もたれ、 膨満感等	16	10	61.5%

} 有意差なし

内視鏡所見による有効率

	有効	無効	有効率
所見あり	2	5	28.6%
所見なし	19	10	65.5%

P=0.089

併用薬による有効率

	有効	無効	有効率
単独	2	6	25%
PPI上乗せ	9	7	56%
PPI切り替え	3	2	60%
PPI同時開始	3	1	75%
H2A上乗せ	4	0	100%
H2同時開始	2	0	100%

併用薬による有効率

	有効	無効	有効率
単独+ 切り替え	5	8	38.5%
併用	18	8	69.2%

} P=0.068

六君子湯の適応

漢方医学的な使用目標(証)

比較的体力が低下した人

心窩部膨満感、食欲不振、全身倦怠感、
胃腸機能低下、手足の冷え、食後嗜眠

腹証：腹壁軟弱 振水音 脈証：沈弱

舌証：淡白色、湿潤して無苔

六君子湯の効果

- 胃内容排出促進
- 胃適応性弛緩促進
- 血中グレリン濃度上昇による食欲亢進
- 胃粘膜防御作用
- 胃知覚過敏の改善

等

まとめ

- ・比較的高齢者で有効率が高い
 - ・内視鏡所見が軽度である症例で有効率が高い傾向
 - ・痛みや胸やけ症状（ROMEⅢでの心窩部痛症候群）よりも、食欲不振やもたれ等（ROMEⅢでの食後愁訴症候群）の症状に有効率が高い傾向
 - ・単独投与よりもPPIやH2ブロッカーとの併用の方が有効率が高い傾向
- 一方で

患者側では服用しにくさを訴えるケースも多い